

希少種 “アミダコ”

令和2年4月15日、伊東魚市場で漁獲物測定を行っている時、漁協の市場担当職員から、「珍しいタコが獲れたから確保しておいた」と、凍った小型のタコを頂きました。漁協職員曰く、このタコは「アミダコ」という希少なタコで、生きていれば数十万円で取引されるそうです。今回提供いただいたアミダコは4月6日に富戸定置網（伊東市）で漁獲されたもので、既に死亡しておりましたが、その数日前には生きた個体が漁獲されており、そちらは水族館に買われて行ったとのことでした。

研究所に持ち帰り観察、測定を行ったところ全長31.1cm、体重259.4gでした。外套膜の背面は滑らかで、腹面は疣状突起が並び、それらを肉稜が繋ぎ網目状構造を呈する、というアミダコの特徴も確認できました。分布域は全世界の熱帯～温帯で外洋の表～中層を浮遊しているとのことであり、現在、黒潮が大蛇行流路であることから、外洋の生物が黒潮に乗って静岡県沿岸に迷入しやすくなっているのかもしれない。また、雄や幼体はサルパに入り浮遊生活を行うとのことなので、いつの日かサルパに入った生きたアミダコを見てみたいものです。



写真 アミダコの全体像（左）背面（右）腹面



写真（左）腹面の網目状構造（右）足部の拡大図